



BCP普及へ実践塾

岡山県産業振興財団開講

感染症想定し訓練

岡山県内の中小企業（市内で開講し、感染症を対象に、災害に備えたBCP（事業継続計画）の普及に取り組んでいる岡山県産業振興財団（岡山市北区芳賀）は14日、本年度の「推進実践塾」を岡山

県内の製造業や建設業など30社の46人が受講した。訓練はインドネシアで強毒性の

社員1人がおう吐して倒れた段階では「全員にマスクを着用させる」「接触者を調べる」といった初期対応を指示。感染の拡

大となり、対応策を洗い出したい」と話していた。

同財団は2012、13年度に35社のBCP策定を支援。本年度の実践塾は12月までにあと4回あり、専門家の指導で策定手順な

者 感染症の対応策を話し合うBCP推進実践塾の受講

者 感染者が県内で見つかったーとの想定。それ模擬会社の経

スノーモービルなど

（長田憲司）

た。

どを学ぶ。

のプラスチック部品を製造する作新化成（同市中区雄町）の大

松範寛社長は「震災や感染症などさまざま

なリスクに備え、訓練を通じて対策を洗い出したい」と話している。

新型インフルエンザが発生し、国内1人目の感染者が県内で見つかったーとの想定。それ模擬会社の経